

第10回いがまち地区中学校区再編検討協議会 議事概要

1. 日 時 令和8年6月29日(月) 19:00～20:50
2. 場 所 西柘植地区市民センター 小ホール
3. 出席者 別添資料 委員名簿のとおり 傍聴者:3名
4. 概 要

<事項1> あいさつ (会長)

<事項2(1)> 校歌の歌詞について

【資料1-1、1-2に基づき事務局説明】

校歌については、5月1日に両中学校で「校歌づくりワークショップ」開催し、中学校の生徒をはじめ、保護者の方や地域の方々から校歌に入れるワードを収集させていただいた。そのワードを活用し4種類の歌詞(案)を作成いただいた。本日は、校歌作成者の意向により、4種類の歌詞(案)から選ぶことはせずに、それぞれの歌詞について意見・感想をいただきたい。

《質疑・協議等》

- 会長: 4種類の歌詞(案)について、事務局から説明をいただいた。本日は校歌制作者も出席いただいております、委員の皆さんから忌憚のないご意見をお願いしたい。
- 委員: 今まで長くこの地域で過ごしてきた人たちの想いがそのまま表れているように感じました。全体として、昔からの想いを汲んだ内容になっていて良いと思う。
- 委員: 5文字、7文字で構成されている歌詞は分かりやすいと感じた。また、一部に普段使わない言葉があり難しいと感じる箇所もあった。
- 委員: この地域の特色として霊山は初登山をしているということから「朝の光」などの言葉が入っているのは良い。また、外国にルーツのある生徒もいるため、シンプルで分かりやすい言葉で地域性を表すことも重要である。
- 委員: 言葉が難しいと感じる歌詞もありますが、生徒が前向きな気持ちで歌えるものが良いと思う。
- 委員: 子ども達にとってどのような歌詞が歌いやすいか、覚えやすいかという観点で見ている。覚えやすいという観点では、各番で共通フレーズがあるほうが子どもは覚えやすいと思います。
- 委員: 現代風(ポップス風)といった、切り替えて応援ソングなどに使えるというものは魅力を感じた。
- 委員: 私は、分かりやすさ、覚えやすさといった所が大事だと考えている。
- 委員: 5文字、7文字で構成されているものは、シンプルで分かりやすいと感じた。若々しい歌詞で作成いただいているものもありそれの良いと感じた。
- 委員: 言葉は硬めであるが、印象的なフレーズがあり惹かれる部分がある。
- 委員: この地域ならではのワードを入れて、聞いた瞬間に霊山学校の校歌だと分かるものであったほうが良いと思う。あまり堅苦しくなりすぎず、とは言え軽すぎない、ちょうど良いバランスが大事だと考えている。

- 委員： 地域の象徴となる地名・名所等のバランスは重要であり、どこかに偏って見えないような配慮が必要だと思う。
- 委員： 様々な意見が出たが、やはり地域性や地域の横の繋がりが表現出来るものが良いと思う。
- 会長： 各委員から意見・感想の発言があった。校歌制作の先生の方の感想を聞かせていただきたい。
- 校歌制作者： 本日は貴重な意見をいただきありがとうございます。当初より少しスケジュールが前倒しになっており、十分に集約した形でお示し出来なかった点はお詫び申し上げます。本日は、それぞれが作成した案を見ていただいた。実際には、音楽に合わせて作る以上、長さや言葉の配置など、かなり工夫が必要です。また、学校だけではなく、地域の皆さんと一緒に作っていく校歌にしたいという思いがあります。そのため、皆さんからいただいた意見を踏まえて、最終的には1つにまとめ上げていきたいと考えております。今回はたたき台として見ていただき「この言葉は残してほしい」「この表現が少し変えたほうが良い」といった意見をいただけるとありがたい。
- 校歌制作者： 本日はたくさんの意見をいただきありがとうございます。みんなで校歌を作るというプロジェクトに意義があり、一方で難しさもあります。ワークショップでは皆さんから言葉を集めさせていただいた。地域性や公平性をどう両立するかは難しい点です。校歌はアイデンティティにも繋がるため慎重に進め、皆さまに愛される校歌にしていきたいと考えている。
- 校歌制作者： 本日は参加させていただきありがとうございました。私も2人の先生方と同じ思いで、一枚岩になって取り組ませていただいている。校歌は、入学式や卒業式など、同じ曲でも場面により受け止め方が変わる。その時々思い出と結びついて何度も心に残るものなると思う。本日いただいた「歌いやすさ」「シンプルさ」「生徒への思い」「地域性」などの意見は今度の作成において重要なキーワードばかりだった。今後、3人で協議しながら作成を進めていく。
- 会長： 先生方から、進め方とスケジュール感も含めて話をいただいた。校歌は皆で作るものであり、責任と誇りを持って関われる財産だと思う。委員の皆さんの意見を踏まえ、今後も進めていただければと思う。
- 事務局： 先生方にはいただいた意見を持ち帰ってもらい2案に集約していただき、次回の検討協議会で協議いただく予定。併せて、両中学校の生徒にはアンケートを実施する予定。両方の意見を基に最終案として1案示される予定です。
- 会長： 分かりました。それでは次の事項に移ります。

<事項2(2)> 校章の最終選定について

【資料2-1、2-2、2-3に基づき事務局説明】

校章のデザインについては、応募のあった全110作品の中から、各まちづくり協議会で5作品ずつ絞っていただいた。重複していた作品もあったため最終候補が「10作品」となった。本日は、この10作品の中から1作品選定いただき最終決定としていただきたいと考えている。

《質疑・協議等》

- 会長： 10 作品の中から一度に決めるのは難しいと思うので、まずは各委員の皆さんに2作品ずつ選んでいただき、上記2作品に絞ったうえで決戦投票により最終決定するという進め方でよろしいか。
- 委員： 異議なし
- 事務局： それでは、10 作品の中から2作品を選んでいただき、その結果を集約して最終的に1つに決める方法で進めます。
紙に番号を記入していただく形でお願いします。
(1回目の投票)
- 会長： 1回目の集計結果は、1位が7番の作品、2位が2番の作品でした。この2作品で決選投票を行います。
(最終投票)
- 会長： 決戦投票の結果、7番の作品が得票数が多い結果となった。この結果を踏まえて、(仮称)霊山中学校の校章を7番の作品に決めさせていただくことでよろしいか。
- 委員： 異議なし
- 会長： それでは、校章は7番の作品に決定する。

★校章デザインは7番の作品(No.97)に決定

<事項3> 霊峰中学校校舎改修工事について

【資料3に基づき事務局説明】

霊峰中学校校舎改修工事について、昨年9月1日開催の第3回検討協議会で概略をお示したが、その後設計を進めており、工程表及び図面にに基づき説明する。

工期は、6月15日から11月13日までを予定。主な工事内容は、校舎内の保健室・調理室の改修、廊下天井補強、技術教室前スペースの改修、トイレ改修、音楽室周辺のスロープ改修、換気設備改修、校章取替等です。

体育館については、トイレの改修及び新設工事、階段改修、建具改修、屋根防水、外壁改修等を行います。外構工事としては、アプローチ改修、通路改修、自転車置場改修、銘板改修等を予定しています。

工事中の安全対策として、工事車両は指定されたルートのみを通行させます。小学校前から霊峰中学校までの間については、工事車両の通行を終日禁止し、安全確保を最優先に工事を進めます。また、登校時間帯の午前7時40分から8時30分までは現場への進入は行わないよう指示しております。地域の皆さまのご理解・ご協力をお願いします。

《質疑・協議等》

- 会長： 中学校の駐車場について、現在の駐車スペースはどうなりますか。
- 事務局： 一部縮小しますが、駐車スペースは確保できるようにしています。
- 会長： 改修工事中も体育館は使えますか。
- 委員： 原則として使用できるように配慮しながら工程を組んでいただいた。
- 委員： 9月29日に予定している行事について、柘植中学校の全校生徒が1台のバスで

霊峰中学校に行くことになります。バスの出入りに支障がないようにお願いします。また、使用する予定の教室、トイレ、放送設備等についても配慮をお願いしたい。

事務局： 施工業者とも共有し、安全に配慮します。

会長： 工事については、学校とも連携して安全第一で進めていただき、事故の無いようお願いします。

<事項4> その他

①今後のスケジュールについて(事務局)

次回は、校歌について2案に絞ったものをお示しする予定です。

また、通学手段については、7月1日に柘植中学校区、7月10日に霊峰中学校区の保護者説明会を行い、次回の検討協議会で最終決定いただく予定です。

本日決定いただいた校章については、デザイン作成者と連絡を取らせていただきます。

②霊山中学校のスクールカラーについて(澤委員)

これまでの学校のスクールカラーを踏まえて両校の特徴を生かした色を検討している。その中で濃い紫色が、落ち着きや知的な印象、歴史や文化を大切にする学校のイメージに合うのではないかと考えている。今後、色味の調整を含め業者と調整しながら進めます。

★第11回検討協議会について 7月22日(水)19:00開催に決定

★第12回検討協議会について 8月5日(水)19:00 開催に決定